

平成 28 年 10 月 8 日

P T A 第 4 回運営委員会



～ P T アクションと校長室をつなぐ～

県立旭高等学校長 古谷康司

都筑祭に多くの見学者に来ていただきました。近隣の高校が同じ日に文化祭をしている中、地域での高い評価のおかげか、中学生の姿が目につきました。

生徒はおもてなしを心がけ、お客様から困っているときに自然と声をかけてくれたと、教えていただいたときの喜びはたまりません。二日目は急遽、雨天プログラムの変更になりましたが、実行委員を中心に、生徒が協力しあって乗り切りました。努力は誰かが見えています。ご褒美は例年以上に華やかな花火でした。

文化祭を通して、学校美化にも取り組んでくれました。行事の後もきれいな状態が続いています。親子で輝く旭高校のため、さらに学びにふさわしい環境の学校をめざし、P T アクションのクリーンアップへのご協力をお願いします。

お祭り気分で頭髪や服装のけじめがつけられない一部の生徒がいますが、旭高校は粘り強く声をかけています。このような姿勢によって、卒業生から先生と信頼関係を築けたという声をいただいています。

今年度の修学旅行も無事終わりました。台風を神業のごとくかわし、数々の困難に対し、みんなの協力で乗り越えました。こちらのご褒美は、3日目の渡嘉敷島体験です。そして、旭高校の不思議「何故沖縄でクラスダンス？」が最高の思い出になると思います。

地域貢献として、近くの高齢者の福祉施設の手伝いを始めて2年目。「若い人が来てくれるだけでも嬉しい」と小さい交流から温かい心が育っています。ボランティア活動が進んでいることで、地域貢献をやらされている感から、達成感に成長し、あたり前として行動する人、つまりグランドデザインを目指す、信頼される人づくりが進んでいます。

学び続ける人の育成にも引き続き取り組み、成果が見えるように努めてまいります